

## 8 中部大学 ボランティア・NPO センター（春日井市）

### 地域自主防犯活動活発化促進事業

#### 実施結果報告書

1 団体名	中部大学 ボランティア・NPO センター
2 事業名	中部大学ボランティア・NPO センターによる地域防犯参画事業 「ちょいボラポリス」
3 事業実施 結果	<p>中部大学 ボランティア・NPO センター（以下、当センター）では、所属する学生が地域のボランティア活動の一環として、所轄の春日井警察署と連携し、大学周辺の地域防犯パトロールや、自転車盗難防止の声掛け活動を行ってきた。</p> <p>しかし、近年は活動に参加する学生が限定されることと、新規メンバーの加入が少なく、活動の継続が困難になりつつあった。</p> <p>学生スタッフへ聞き取りを行ったところ、活動に興味はあるものの、学業やバイト等の生活スタイルの中で、空いた時間に気軽に参加のできるボランティア活動が少なく、興味はあるものの参加が出来ずにいる学生が一定数存在することが判明した。</p> <p>その為、次の3点に重点を置き、継続的な参加につなげ、地域防犯意識を高めることを最終目的とし、期間内に合計12回の活動を実施した。</p> <p>① 活動への参加ハードルを下げること →長時間拘束するような活動ではなく、空いた時間などに気軽に参加することが出来る活動にすること。</p> <p>② 活動に参加し経験し、学ぶこと →実際に活動に参加し、地域と交流を持ち、自分たちも地域防犯の一端を担う一員であると責任感を自覚すること。</p> <p>③ 継続参加の意欲を高めること →単なる活動にするのではなく、愛知県警がリリースしている公式アプリ「アイチポリス」のパトロール機能を活用し、自身が行った活動を「見える化」することで学生の継続参加を促す工夫をする。</p> <p>なお、本活動ではちょっとした時間、すきま時間に気軽に参加することが出来る「ちょいボラ」をキーワードにした。</p>

## 1) 防犯勉強会の実施

本格的に活動をスタートさせる前に正しい知識を身に着けることを目的に春日井警察署に春日井市内で発生している軽犯罪の状況と防犯パトロールをする際の注意事項に関する勉強会の依頼をした。

当日は、生活安全課の署員の方にお越しいただき最新のデータを中心に春日井市内での軽犯罪状況について講演いただき、今後の活動に活かすことのできる情報を多く学ぶことができた。



(勉強会の様子)

## 2) 大学付近のエリアのパトロール

活動前に「アイチポリス」を起動し、最新情報を入手しパトロールするコースと声掛け時のセリフを決めた。大学周辺では特に自転車盗難と還付金詐欺に関する注意喚起が多かった。途中から購入したベストを着用し、自転車盗難防止を呼び掛けるチラシを入れたポケットティッシュを配布した。

また、夜間のパトロールでは購入した LED ライトを使用して安全に留意しながら行った。

パトロール中はアプリ内のパトロール機能をオンにしておくことで活動後に自身が歩いたルートと距離が表示され、友人と活動回数やパトロールで歩いた距離を競うなど、アトラクション要素もあり参加者の達成感に繋がった。



(春日井警察署と連携し、大学周辺をパトロールしている様子)



(購入したベストとライトを使用しパトロールしている様子)



(アイチポリス内で最寄りの犯罪情報を確認し、パトロールのルートを決めた。  
パトロール後は歩いた距離とルートが表示される。)

### 3) 自転車盗難啓発活動

大学の駐輪場付近と大学最寄りの駅である JR 神領駅で自転車盗難防止の声掛けを行った。

声掛け時、自転車のツーロックを促す自作のチラシを入れたポケットティッシュとチェーンロック、自転車の反射板を啓発品として配布した。

活動場所と時間帯を変えることで、学生から一般の方までの幅広い方に注意喚起を行うことができた。



(春日井警察署と連携し、大学の駐輪場付近で自転車盗難防止についての啓発活動をしている様子)



(JR 神領駅北口・南口で自転車盗難防止についての啓発活動をしている様子)

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>①事業活動を通して地域住民に市内で発生している軽犯罪の状況を伝えることができ、声をかけた方からは感謝のお言葉をいただくこともあり、参加学生も充実した活動を行うことができた。</p> <p>②活動のキーワードである「ちょいボラ」を積極的にアピールしたことで、活動に対する参加ハードルが下がり、普段は活動に参加しない学生もすきま時間に活動に参加するなどの効果が見られた。</p> <p>③活動に「アイチポリス」を導入したことで、登録したエリアの最新の不審者・犯罪情報が手軽に入手できるようになり、防犯パトロールのルートを考える際の参考資料として大変参考になった。</p> <p>また、活動に参加した学生の多くは愛知県在住の者が多く、日ごろの生活エリアの犯罪情報を得ることができ、日ごろの防犯意識が向上したとの声が挙がった。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>声掛けをした方の多くは我々の作成したチラシを見て身近で起こる軽犯罪の実情を知ることが多かったため、日ごろから防犯に関する意識をもってもらうように継続的な啓発活動が必要であると感じた。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>①今回は主に自転車盗難防止の啓発と大学周辺での防犯パトロールを行ったが、今後は活動場所を拡大し、特殊詐欺被害防止などの声掛けを展開していきたい。</p> <p>②活動を継続できるように中心となる学生の育成に注力し、学生スタッフの負担にならないよう引き続きちょっとした時間、すきま時間での活動企画を続ける。</p>
----------------------------------	--